戸籍のまど（8月届出分）

★お誕生おめでとう

庄司健人（俊哉）砂子又
相内葵詩（昇秋）老部
坂上采羽（和摩）老部

★ご結婚おめでとう

相内祐一郎（老部）
（比佐美穂（十和田市）

★お悔やみ申し上げます

相内光江（老部）83歳
吉光秀樹（白糠）45歳
坂本とも（老部）85歳
太田みとり（小田野沢）92歳
中野孝太郎（入口）86歳
坂本多助（老部）90歳
松木茂（砂子又）91歳

※個人のプライバシーを尊重する意味で載せてほしくない方は届出の際に係に申し出てくださることをお願い致します。

満1歳で～す！

石田壮挙さん（尻屋）の
長男 拓海（たくみ）くん

住吉悟さん（尻屋）の
三女 樹理（じゅり）ちゃん

圓子学さん（古野牛川）の
次女 咲梨紅（さりあ）ちゃん

尻屋埼灯台 点灯140周年記念式典

日時：10月9日（日）
10時～10時30分
場所：尻屋埼灯台周辺

★点灯140周年を記念し、灯台の特別公開やタイムカプセル保管式、下北ジオパークの展示などを行います。
<問合せ先>経営企画課　☎27-2111

東通村 ジオパーク 探訪

先月は休載した探訪ですが、今回は、引き続き“猿ヶ森砂丘”についてです。

そもそも砂丘とは、風で砂が吹き溜まった地形のことをいいます。ですので、波打ち際や嵐で波が届く範囲、波で寄せられた砂の高まりなどは砂丘ではなく、前浜（まえはま）や後浜（あとはま）といった「浜」の地形です。

一方で、猿ヶ森砂丘は、地球規模の温暖化や寒冷化で海水面の高さが変わったり、海流の影響で打ち寄せられたりした砂が、長い時間をかけて風に運ばれ、浜よりも内側の陸に吹き溜まった地形と考えられています。尻労地区や小田野沢地区から砂丘を見ると、ちょうど防砂林と砂浜の間に、丘のような砂の高まりを見る事ができ、これが典型的な砂丘の地形です。

また、１万年以上も時代をさかのぼると、現在砂丘があるあたりは、当時は砂が堆積せずに海だったと考えられています。この海だった時代の名残（なごり）が、猿ヶ森砂丘内に点在する左京沼や大沼などの湖沼群です。大小さまざまに点在する湖沼群は、かつて入り江のようだった地形が、砂が堆積するなどして陸地化する際に取り残され、そのまま沼になっていると考えられています。